

事業所における児童発達支援自己評価(公表)

公表：令和2年2月17日

事業所名：留萌中部地域子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・十分なスペースが確保されている	
	②	職員配置数は適切であるか	○		・一人一人に合わせた取り組みを行えている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特定に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・一部バリアフリー化はされているが、階段や段差などは見守りを徹底している。限られた環境の中でできる限り構造化や視覚支援を用いて、子どもたちにわかりやすいように配慮している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・療育前後に清掃し、清潔に保たれている ・建物が古く、寒暖差が激しいが、子どもたちが活動しやすい空間づくりを考えている	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・常に話し合いを実施し、共通理解につなげている	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		・昨年度の結果をもとに業務改善につなげている	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページに公開している	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	○		・専門支援員により療育場面の検証等行っている	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部、内部研修ともに機会は充実している	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・定期的な発達評価を実施し、保護者と共に、課題と今後の関りを基に計画を作成している	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・半年に1度乳幼児発達評価を実施し、現在の状況を保護者と確認している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・それぞれの支援内容に沿って、具体的な内容をわかりやすく設定している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援に関わるスタッフ全員が意識して支援を行っている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・その都度チームで話をしている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・子どもの変化に応じ、現在の状況と取り組み内容を記載している	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの現在の状況、気持ちに寄り添い、個別や小集団での活動を開拓している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動のシミュレーションや役割分担を確認することができている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・問題点、課題の振り返りを実施し、今後の関わりを確認している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	(19)	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・支援終了後には日誌を記録し、課題や成長の確認している	
	(20)	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半年に1度乳幼児発達評価を実施し、現在の状況を保護者と確認している	
	(21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理者と担当職員が出席している	
	(22)	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・各関係機関と話し合いの中、共通理解をもち支援を行っている	
	(23)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	・現在対象児がいない	
	(24)	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		・現在対象児はいないが、医療等、ケース連絡を送付し、支援に対する助言を受ける体制は整っている	
	(25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・支援の経緯、課題等引継ぎを行っている	
	(26)	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・支援の方向性等、助言や指導を受けている	
	(27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・留萌振興局圏域子ども発達支援事業等より、各専門機関と連携を取り、助言、指導を受けている	
	(28)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・併行通園している子が多いため、交流はしていない ・その都度職員が、見学等している	
	(29)	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		・職員の勤務時間内に可能であれば参加している	
	(30)	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・活動内容や目的等、直接保護者に伝えることや、玄関前黒板に書いて伝えたり、おたよりで伝え共通理解をもっている	
	(31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		・プログラムとして作成してはいないが、保護者の思いに寄り添い、対応策と一緒に考えている	
	(32)	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・保健師と連携し、契約時に説明している	
	(33)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・発達支援プラン（個別支援計画書）を作成し、面談を行い同意を得ている	
	(34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・相談には丁寧に対応することを心掛けている ・内容によっては、別の機関を紹介している	
	(35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者座談会を開催し、悩みや境遇を伝えあい、対応について心理士より助言を受ける機会を設けている	
	(36)	子どもや保護者からの相談や受け入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・苦情等、発生した場合には即対応するよう努めている	
	(37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月1回活動内容や目的等お知らせしている。	
	(38)	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・十分に配慮している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	(39)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・子どもの発達、特性等を把握し、保護者と個別で話したりしている	
	(40)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・予定していない	
非常時等の対応	(41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・事業所内に掲示し、定期的に確認している	
	(42)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・実施できていないので、今後、様々な事を想定し行っていきたい
	(43)	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		・アセスメント等で必要な情報を聞き確認している	
	(44)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・クッキング等の療育時には保護者としっかり確認している	
	(45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	・事業所内で確認していく	
	(46)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・職員間で常に話し合いをもち、意識の向上を図っている	
	(47)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	・事業者内で確認していく	